

	令和6年6月19日(水) 18時30分～21時00分							
会場	市民プラザあくろす ホール1							
運営委員	会場	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	会場	石井 洋子	欠席	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	安藤 雄太	会場	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	会場	佐竹 澄子	会場	吉田 真也	会場	松谷 知彦	欠席	田村 敦史
	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ						
事務局	橋本、北島、上野							

1 はじめに

配布資料の確認。

各委員より近況報告を行った。

《共有事項》 19:05～19:15 (10M)

2 令和5年度事業報告・資金収支決算報告について

【事務局】 6月5日の理事会で承認された。

災害ボランティアセンターのHP運用について評価を得ている。

6月20日の評議委員会で報告する。

3 苦情・事故報告

【事務局】 市民活動支援センター内に設置した団体宛メールボックスに届いた郵便物の誤開封1件と鍵の渡し間違い2件が、同一団体において発生し、御迷惑をお掛けした。

該当団体に謝罪し、法人本部、協働推進課、福祉総務課と共有をした。協議の上、職員へ調査を行い、改善にむけて取り組んでいる。

再発防止にむけて、①鍵のタグに団体名と色分け表示。②鍵の貸出表をロッカーとメールボックスの枠を分けて改善した。③一覧名簿を刷新し、ロッカーとメールボックスの管理を分けた。④キーボックス上部に注意を促す紙を掲示。

以上4点の対応を行った。

【委員】 該当団体に管理方法における意向・要望を確認し、可能な範囲で取り入れることを検討できると尚良い。

【事務局】 対応を検討していく。

《協議事項》 19:15～20:10 (5M+15M+10M+10M+15M)

【委員長】 今年度のえんがわフェスタで、現在協議している3つのテーマを取り入れていきたい。
3グループのコラボできるところはアイデアを模索していく。
本日、各テーマでグループ協議を行い、次回運営委員会の中で、具体的内容を固めていきたい。

4-㊦ グループ協議

資料①

・3つのグループに分かれて協議を行った。

4-㊧ 各グループから報告

(こども)

・メインテーマは食育

ターゲットは未就学児から小学校低学年。調理体験をしながら、保護者は分かれて食育に関するセミナー等を実施する案。子どもだけでなく、ライフステージに合った食事の提案。人生を通したメニューを調理するような企画。企業、団体との協働、連携。

(高齢者)

・高齢者の孤立の解消

テーマは「孤立から出るのはどうすればよいか」。手段は演劇。演劇は高校の演劇部が前向きに検討してくれている。その演劇をYouTube等で配信してはどうか。
高校の演劇部からは、演出家が必要であると要望をいただいている。予算など要件等。
子ども、保護者が調理した食事を食べながら演劇を鑑賞してはどうか。
高齢者サロンのケースを演劇に入れるのはどうか。

(50代)

・ミッドライフクライシス

話し合った内容がいろいろ変わった経緯がある。「深」のケースを共有。ミッドライフクライシスの社会課題に触れ、仕事、家庭以外のやりがいを見つけていく。豊かなセカンドライフを考えるきっかけとなれるような企画を検討してきた。

もやもやしている人(主に50代)をターゲットに、地元企業と協働し、企画していきたい。

企業と協働する際には、企業の社会貢献活動について企業の社会的価値の向上を売り込んでいくと良いのではないか。パネルディスカッションなどではなく、楽しめる企画を模索したい。

4-㊨ グループ協議

3つのグループに分かれて、再び協議を行った。

4-⑤ 各グループ発表

(こども) ・演劇

50代で後悔しないために、「時をもどして」子どものときから食を大切にしよう！と気づいてもらう。「孤食の解消」をメッセージに取り組みたい。

(高齢者) ・演劇

演劇は万能。なんでも表現できる。ストーリーの中で孤立が解消される様子を表現。演出については課題。出演者は一般公募でも良いのではないかと。

(50代) ・「ゆたかな生活」

演劇と食、多世代の交流に関する演劇を上映。

3匹の子豚のように、食や生活を大切にしないと、さみしい老年期になってしまうのではないかと、大切にすると、よい老年期が待っているのではないかと投げかける。

4-⑥ 協議

次回運営員会で継続協議を行っていくこととした。

《報告事項》 20:10～20:25 (15M)

5 居場所探訪PJについて

資料②

① まごじば報告

【委員】 PTA活動をきっかけに、小学校区を中心に活動。運営委員も1名メンバーとして参加されている。固定している居場所だけでなく良いと気付いた活動。

6月18日、はちみつルームを訪問。多世代が交流する居場所となっていた。

② 居場所「深“」

資料③

【委員】 退職後に始めた地域の居場所。ミッドライフクライシスを解消し、多様な価値観に触れ豊かなセカンドライフにつなげるための仕組みである。

③ 7/6(土)報告会参加可能委員確認

【事務局】 現在、10名のお申込がある。6月20日の市報に掲載されるので、申込者が増えることを期待している。

《その他》 20:25～20:30 (5M)

6 情報共有

① えんがわファンドについて

【事務局】 今年度の助成団体が決定。通知を発送予定。6月20日、HPにて助成団体を公開する。

② えんがわ文庫について

【事務局】 次回運営委員会開催日に、えんがわ文庫の交流会を実施。最初の10分で運営委員会とえんがわ文庫の棚主が交流を図りたい。

③ サマーボランティアについて

資料④

【事務局】 今年度のプログラムが決定。6月21日より広報を開始する予定。

④ CAPSよりイベントのお知らせ

【委員】 ・VITAMIN CAPS ・2024MURASAKI ROCK FESTIVAL

7 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料⑤

7月20日(土) 10時00分～12時00分 第4回運営委員会

9月12日(木) 18時30分～20時00分 第5回運営委員会